

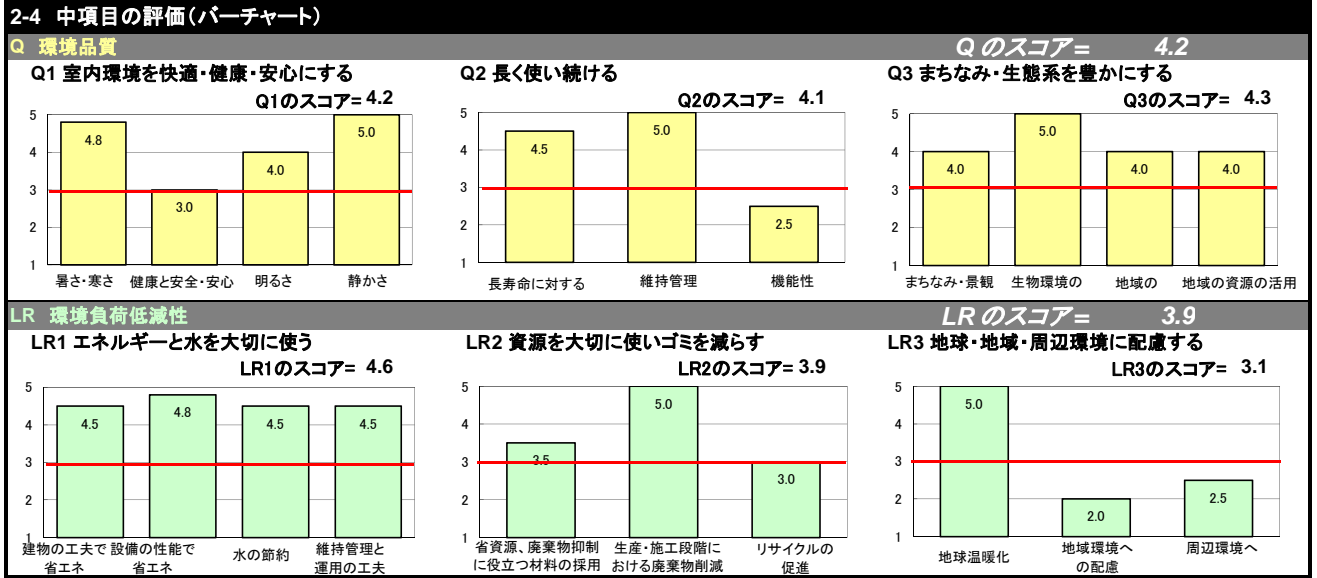
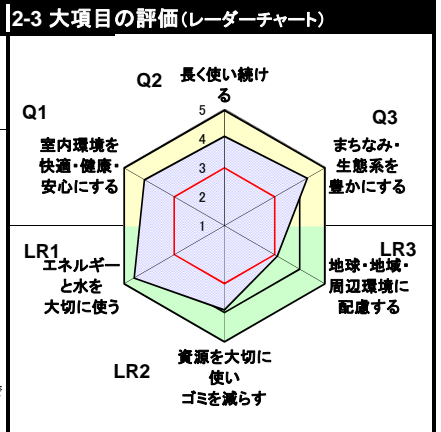
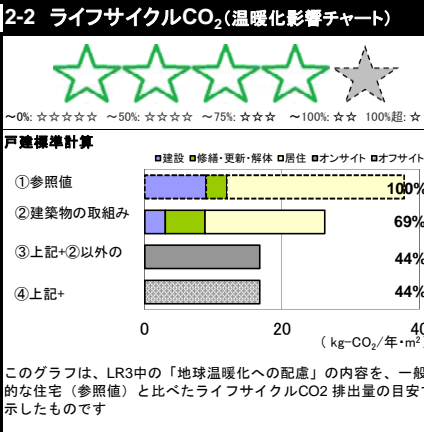
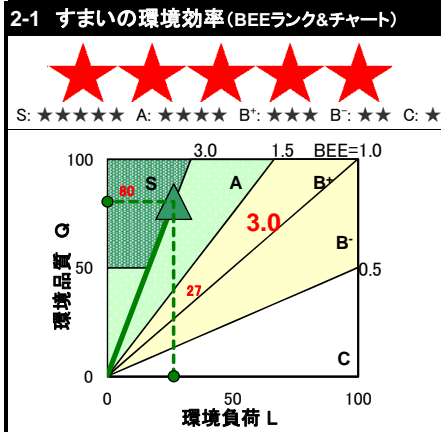
CASBEE[®] 戸建-新築

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE戸建-新築 (2010年版)

■使用評価ソフト: CASBEE_DH-NC_2010v1.2

| 1-1 建物概要 | | | 1-2 外観 | | |
|------------|--------------------|----|----------|------------------|----|
| 建物名称 | ソーラータウン府中05号棟 | | 仕様等の確定状況 | 建物の仕様 持ち込み家電等 | 確定 |
| 竣工年月 | 2013年4月 | 予定 | | 外構の仕様 | 確定 |
| 建設地 | 東京都府中市美好町二丁目 | | ＜備考＞ | | |
| 用途地域 | 第一層低層住居専用 | 確定 | | | |
| 省エネルギー地域区分 | IV | | | | |
| 構造・構法 | 木造 | 確定 | | | |
| 階数 | 2 | | | | |
| 敷地面積 | 126 m ² | 確定 | 評価の実施日 | 2013年2月24日 | |
| 建築面積 | 60 m ² | 確定 | 作成者 | 戸01694-14 城丸 智也 | |
| 延床面積 | 112 m ² | | 確認日 | | |
| 世帯人数 | 4 | 仮 | 確認者 | | |



3 設計上の配慮事項

| 総合 | その他 |
|--|--|
| <p>気持ちよく長く使い続けられることがテーマの住宅である。構造は外周部と1本の大黒柱のみで持たせることで、将来の間取りの変更へ対応を可能にした。長期の使用を前提に、劣化の軽減、維持管理の容易さも重点においた。断熱性能を高めつつ、パッシブソーラーを採用し、建物全体の環境を向上させた。周辺、ひいては地球環境へも配慮したシステムであるため、少ないエネルギーでも快適さを保ち、緑をうまく配することで心地よい環境を作っている。</p> | <p>これからの生活環境、ひいては地球環境を考慮した新しい住宅を提案した。建設過程における運送エネルギーの削減、生活スタイルではパッシブソーラーやソーラーパネルなど、枯渇資源である化石燃料から自然エネルギーへのエネルギーシフトの可能性と現実性を盛り込んでいる。</p> |
| <p>Q1 室内環境を快適・健康・安心にする 断熱材は性能の高いものを選択した。サッシは全て断熱性の高いサッシ、ガラスはLow-Eガラスとして性能表示等級(温熱等級)4を満たすようにした。暖房はパッシブソーラーを採用し住宅全体の室温の均質化を図り快適な室内環境を実現した。夏季には西側の窓前にグリーンカーテンを植生させ、室内への日射の遮蔽、涼風を期待する。</p> | <p>Q2 長く使い続ける 長く使い続ける為に、劣化の軽減等級3、維持管理等級3、耐震等級3を確保した。外壁通気工法での施工により躯体の耐久性を上げられる。また外周部と1本の大黒柱という構造特徴により、家族構成の変更に伴う間取り変更の対応が容易である。</p> |
| <p>LR1 エネルギーと水を大切に使う 性能表示等級(温熱等級)4を満たすことで建物の熱負荷を軽減した。また節水タイプのキッチン水栓、シャワーのフックを使用して節水に努めた。太陽光発電システムを採用し、ガス等によるエネルギー供給を大きく削減することができる。</p> | <p>LR2 資源を大切に使いゴミを減らす 躯体全てに多摩産材を使い、地産地消を実現した。そのため木材運搬に係るCO₂も削減している。屋根・外装材はガルバリウム鋼板、内装下地は石膏ボード、内装仕上げに和紙クロスを使用し、省資源・廃棄物抑制に努めた。</p> |
| | <p>LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する 敷地内は形状を変更することなく保全に努め、隙間にタマリユを植栽した。夏季には西側窓にグリーンカーテンを植生させる。</p> |
| | <p>Q3 まちなみ・生態系を豊かにする 外装は周辺の住宅環境と調和した形状、色彩とした。また、北側公園から続くように樹木を配した。加えて、建物周辺に人が十分通れる程度の空きを確保し、災害時の避難が有効にできるようにした。</p> |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)